

高岡古文書ボランティア

設立趣意書

この度、高岡古文書ボランティアを設立いたします。

この団体は、高岡市域、および関係地域に所在する古文書の散逸を防ぎ、その有効な保存と活用を目的としています（古文書とは基本的に、江戸時代以前の紙に墨で書かれた古い手紙のことをいいますが、ここでは広く近代の古記録等も含めた歴史資料全般のことを指します）。

歴史を知るためには、古文書は欠かせません。歴史研究の基礎となる貴重な古文書をひも解くことにより、教科書や歴史書には書かれていない、隠された魅力ある歴史の一端を垣間見ることができます。

しかし、古文書に書かれたくずし字は難解で、しかも多くは虫に食われたりして汚れています。そして改築や引っ越しなどの際に廃棄されてしまうことも多いと思います。

つまり、私たちの郷土の歴史が日々失われてしまっている、ともいえるのです。

古文書を有効に活用するためには、適切に調査・整理する必要があります。そして、「目録」を作成して、その情報を公開しなければいけません。そうしてはじめて、市民をはじめ、研究者など外部の目に触れる機会が増え、有効に活用されることとなります。

古文書は郷土の貴重な「お宝」であるという認識を、郷土の皆で共有することが保存・活用の近道だと思います。

われわれ、高岡古文書ボランティアでは、主に高岡市立博物館の所蔵・保管する古文書などの歴史的資料を調査・整理して、その活動を支援し、さらに地域に所在する未調査史料の調査・整理もしていきたいと考えています。そして、高岡地域の歴史文化の振興・発展に寄与し、また、ボランティアの生涯学習に資することも目的としています。

皆様におかれましては、高岡古文書ボランティアの設立趣旨にご賛同賜り、一人でも多くの方のご参加をいただきたくお願い申し上げます。

平成 27 年 4 月

高岡古文書ボランティア設立準備委員 一同